

防災マニュアル(例)

地震・津波編



平成24年4月



高知県防災キャラクター

©やなせたかし

目次

1	組織体制	
(1)	防災対応組織	1～2
①	災害（地震・津波）対策本部	
②	地震・津波発生時の役割分担	
(2)	保育者等の参集基準	2～4
①	開所時間内の参集基準	2
②	休日・夜間等の震災時における参集基準	3
③	休日・夜間等の参集後の対応	3
④	緊急連絡網	4
(3)	関係機関との連絡体制	5～6
①	緊急連絡体制	5
②	防災関係機関連絡先一覧	6
2	事前対応	
(1)	避難訓練	7～11
①	安全計画	7
②	避難訓練年間計画	8
③	避難訓練実施記録	11
(2)	防災マップの作成	12～14
①	園内避難経路図	12
②	近隣の防災マップ	13
③	避難先一覧表	14
(3)	施設の安全管理	15
	施設・備品の耐震対策チェック	
(4)	備蓄物資と非常持ち出し品	16～17
①	備蓄物資	16
②	非常持ち出し品	17
3	地震発生後の対応	
(1)	いろいろな保育場面等に応じた対応マニュアル	18～25
	保育室等での対応、預かり・延長保育時の対応	18
	園庭での対応	19
	昼寝時の対応	20
	散歩時等の対応	21
	プール・水遊び中の対応	22
	通園バス乗車中の対応	23

登園・降園中の対応	24
休日・夜間等の対応	25
(2) 保護者への引き渡し	26～27
① 保護者への引き渡し	26
② 緊急時連絡・引き渡しカード	27
(3) 緊急時の通信手段	28～29
① 災害伝言ダイヤル「171」	
② 災害用ブロードバンド伝言板	
③ iモード災害伝言板	
④ 災害用伝言体験利用	
4 災害時における心のケア	
(1) 園児の心のケア	30～31
(2) 保育者等の心のケア	32～33

1 組織体制

(1) 防災対応組織

① 災害（地震・津波）対策本部

各園の実態に応じて、必要な内容を追加してください。

名称	担当	氏名	主な対応
総括本部	所長・園長 教頭・主任		<ul style="list-style-type: none"> 被害状況等を把握し、避難の実施方法を決定 避難経路の安全性を確認後、避難の指示 二次災害等の情報収集 非常持ち出し品の搬出 縣市町村等の関係機関への連絡 マスコミ対応
避難誘導・安否確認班	担任保育者		<ul style="list-style-type: none"> 園児の安全を確保 園児への的確な指示（押さない、走らない、しゃべらない、戻らない） 担当クラスの人員を確認し、負傷の有無・程度、行方不明者を本部に報告 非常持ち出し品（出席簿、緊急時連絡票等）の携帯 避難場所の確保 保護者への連絡
救出・救護班	担任外保育者		<ul style="list-style-type: none"> 保育室、トイレ、ホール、園庭等の残留園児の確認 負傷者の救出 負傷者の応急手当 医療機関への連絡 行方不明者の搜索 救急用品の常備
消火班	調理員 事務職		<ul style="list-style-type: none"> 出火防止措置 ガスの元栓を閉める 電気のブレーカーを切る 等 初期消火活動

園児や保育者等の人数など、各園の実態に応じて担当者名を記入してください。

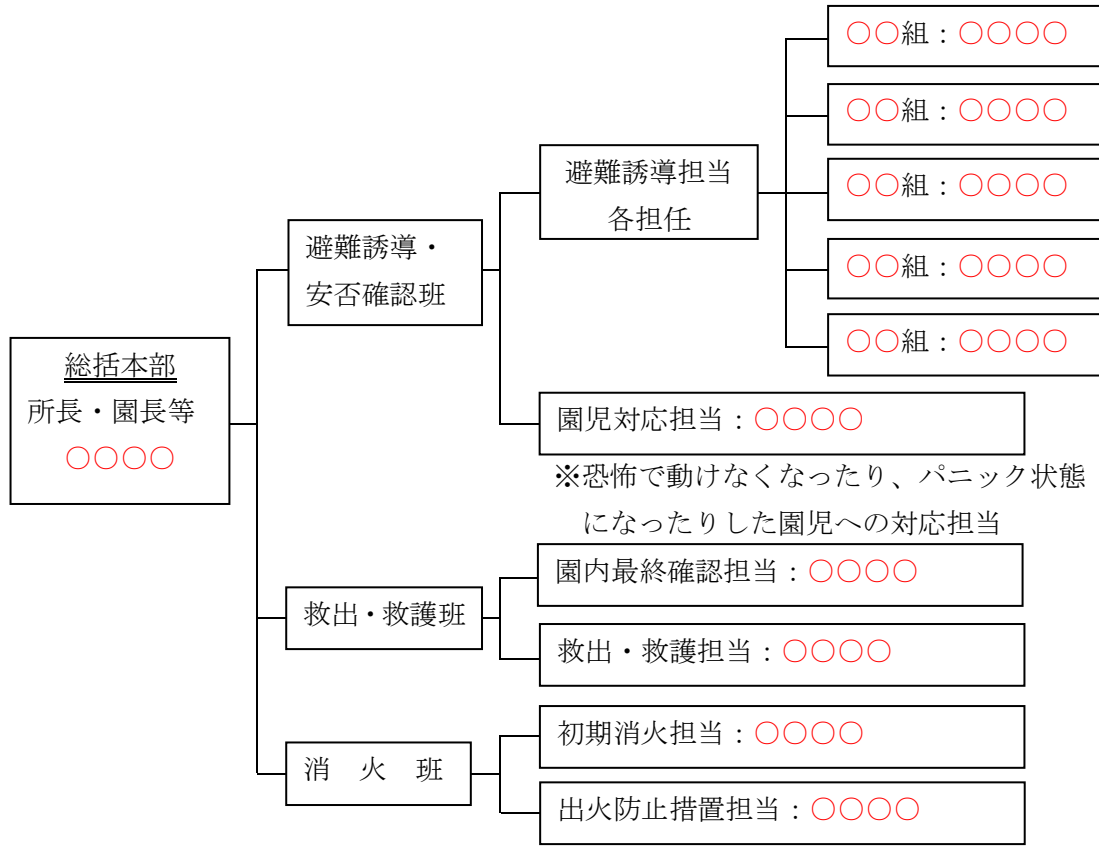
※総括者不在時代理者

代理順位	職名	氏名
1		
2		
3		

総括者不在時の順次代理者を記載してください。

② 地震・津波発生時の役割分担

園児や保育者等の人数など、各園の実態に応じて担当者名を記入してください。



(2) 保育者等の参集基準

開所時間内の保育者等の参集基準を記入してください。

① 開所時間内の参集基準

保育中の職員	災害対応体制をとる。
研修等で園を離れている職員	自身の安全確保後、園に戻り災害対応体制に就く。
休日・退勤の職員	自身の安全確保、家族の安否確認後、園または参集場所へ出勤する。

・市町村等が定めている参集基準を参考に、各園の参集基準を記入してください。
 ・津波の危険性のある地域では、別途参集場所を決め、明示してください。

② 休日・夜間等の震災時における参集基準

配備体制	配備基準	参集基準
第1 配備 警戒体制	津波 注意報 が発表	津波・浸水が想定される園においては、所長・園長及びあらかじめ指定する保育者等（1～2名）を配備
第2 配備 嚴重警戒体制 必要に応じ 災害対策本部設置	震度4 以上の地震が発生	所長・園長及びあらかじめ指定する保育者等（3～4名）を配備
	津波 警報 が発表	津波・浸水が想定される園においては、所長・園長及びあらかじめ指定する保育者等（3～4名）を配備
第3 配備 災害対策本部設置	震度5弱 の地震が発生	所長・園長及びあらかじめ指定する保育者等（5割以上）を配備
	震度5強 の地震が発生	原則として保育者等の全員を配備
	大津波 警報 が発表	原則として保育者等の全員を配備

[津波危険時参集場所 : ○○小学校 → ○○公民館]

各園の実態に応じて、対応内容や担当者（誰が、何をするか）を決めてください。

③ 休日・夜間等の参集後の対応

所長・園長等	<ul style="list-style-type: none"> 園児、保育者等の安否確認をする。 施設等の安全確認をする。 関係機関に情報連絡をする。 休園等の措置について決定する。 ※所長・園長等が不在の場合は、順次代理者が指示する。	<ul style="list-style-type: none"> 園児、保護者、保育者等の安否について情報共有をする。
保育者等	<ul style="list-style-type: none"> 園児、保護者の安否確認をする。 園児の避難状況等の情報収集を行う。 施設等の安全確認をする。 その他、所長・園長等の指示に従い臨機応変に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の対応について共通理解する。

緊急時に連絡がとれるよう、自宅や携帯電話の番号、メールアドレス等で、誰が、誰に連絡するかを明示してください。

④ ○○園 緊急連絡網

平成 24 年 4 月 10 日現在

取扱注意

園長・所長
088-821-4881
090-0000-1234

副園長・副所長

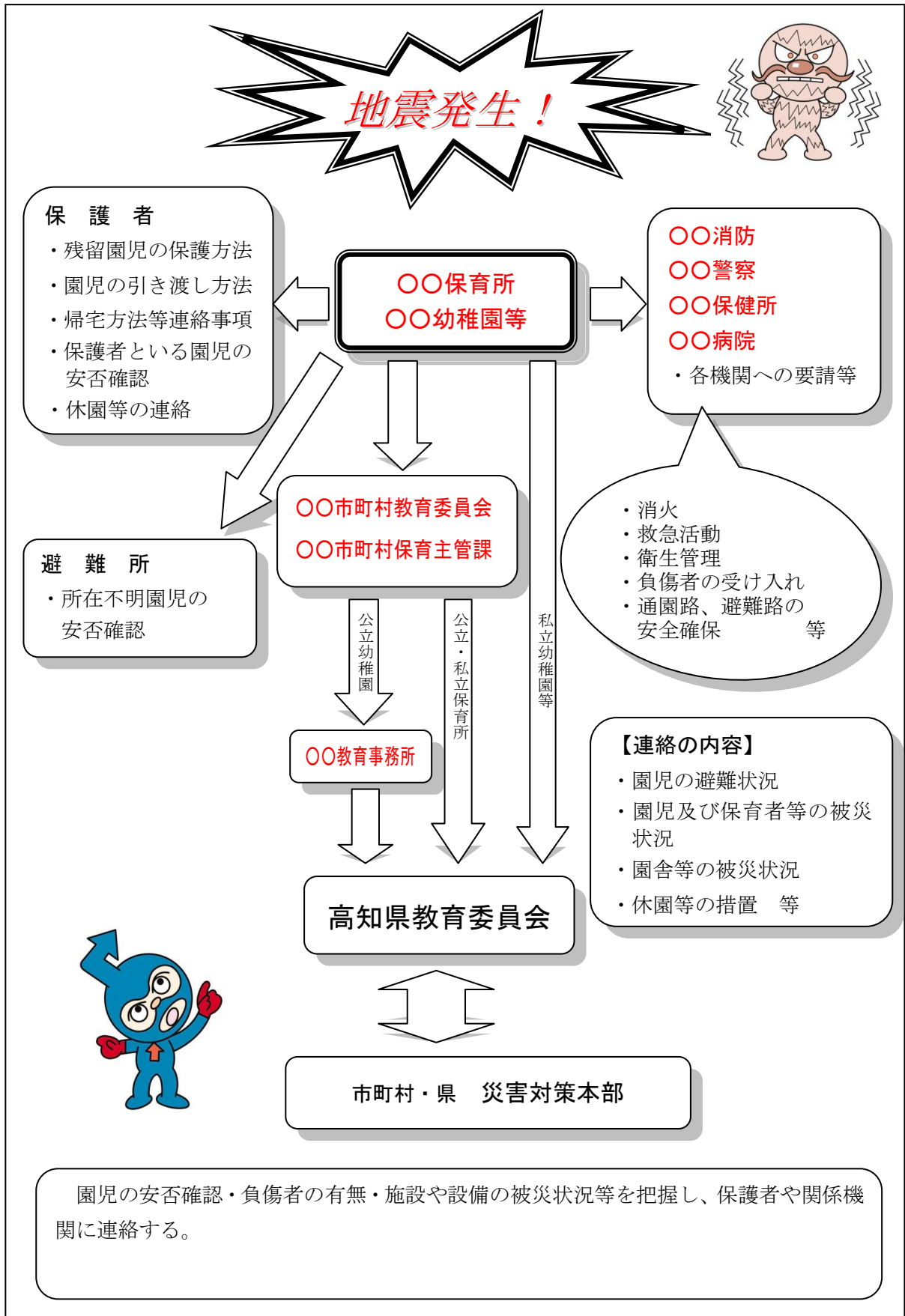
主任 ○○○○

高知 花子
088-821-0001
090-8821-4889
311601@kochi.lg.jp

(3) 関係機関との連絡体制

① 緊急連絡体制

緊急時に連絡が必要な関係機関名を記入してください。



② 防災関係機関連絡先一覧

【県・市町村】

	電 話	F a x	備考（防災無線等）
高知県教育委員会			
幼保支援課	088-821 - 4881	088-821 - 4774	
市町村教育委員会			
総務施設担当課			
学校教育担当課			
市町村保育主管課			
首長部局			
防災担当課			
支 所			
市 民 館			
公 民 館			
保健センター			

市町村の関係機関連絡先を
記入してください。

【関係機関】

	電 話	F a x	備考（防災無線等）
〇〇消防署			
〇〇警察署			
〇〇保健所			
〇〇病院			
〇〇小児科			
△△水道局			
□□ガス会社			
▽▽電力会社			

関係機関連絡先を記入して
ください。

※防災無線… 〇〇〇

※その他の連絡方法… 〇〇〇



トラフ博士

2 事前対応

(1) 避難訓練

① 安全計画

〔安全計画（地震・津波対応）〕

園児の安全能力の育成、保育者等の災害対応能力の向上、保護者の防災意識の向上等のための年間計画を作成してください。

月	安全管理	安全に関する組織活動 (研修を含む)	防災教育
4月	<ul style="list-style-type: none"> 防災組織体制の確立 安全点検表の作成及び点検 スクールバス運行ルート の危険箇所及び避難場所の 確認 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発 緊急連絡・引き渡しカード の作成及び保護者と内容 についての確認 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 絵本の読み 聞かせ
5月	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 園外保育・遠足等の目的地 の实地踏査 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発 地域の防災組織と連携し た避難経路等の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 「ぼくらがま もる」(歌)
6月	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 消防署の指導による保育者 等の通報訓練、初期消火訓練 プール、水遊び遊具、用具の 安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> けがの処置や心肺蘇生法 (AED含む)の研修 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 (消防署から の指導)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練
8月	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急連絡票・引き渡しカード を使っての連絡及び引き 渡し訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 (保護者参加)
9月	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した避難訓練 (保護者参加) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携 した避難訓 練 (保護者参加)
10月	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 園外保育・遠足等の目的地 及び周辺の实地踏査 	<ul style="list-style-type: none"> 消防署の指導(起震車で の地震体験等) 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 起震車で地 震の揺れを 体験する
11月	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練
12月	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練
1月	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 保育者等の消火訓練(消防 署の指導) 	<ul style="list-style-type: none"> 地震・津波発生時の避難場 所、連絡方法を保護者と再 確認 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 「あそぼうさ いカルタ」で 遊ぼう
2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 1年間の安全点検の評価・ 反省 次年度の防災組織等の再編 成 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練

※生活安全、交通安全等の年間安全計画は別途作成。

いろいろな保育場面を想定し、いつも同じ時間の設定にならないように、避難訓練年間計画を作成してください。

② 避難訓練年間計画

月 日	4月20日	5月20日	6月19日
訓練時間	室内でクラス全体で活動中	室内でクラス全体で活動中	クラス全体で活動中
	9:30	10:00	10:30
想定	火災	地震・津波	火災
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・非常ベルや保育者等の声等の合図で避難しなければならないことを知る。 ・保育者等の指示に従い、皆と一緒に行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時の避難の仕方を知る。 ・保育者等の指示に従って防災頭巾を被り、皆と一緒に行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者等の指示に従って避難する。 ・消防署の指導による訓練を行う。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・年度始めなので、各クラスの状態に応じて非常ベル等の合図で避難することを知らせておく。 ・非常ベルの音を聞いて泣き出す子もいるので、声をかけるなど、安心感をもたせる。 ・園内放送に注意を向け、静かに聞くようにさせる。 ・ハンカチや手、服等で口を押さえ、避難することを知らせる。 ・あわてて飛び出したり、押したり、かけ出したりしないで、保育者等の指示を注意して聞くように指導する。 ★頭を防災頭巾等で保護し、上履きや靴を履かせ避難させる。 ★非常時持ち出し袋を持参し、避難場所に誘導する。 ★人員確認をし、けが人等の有無を所長・園長等に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて行う地震発生時の避難訓練なので、避難方法を知らせておく。 ・揺れがおさまるのを待って避難させる。 ・園内放送に注意を向け、静かに聞くようにさせる。 ・保育者等の誘導・援助で園庭から避難場所や高台等へ避難させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常ベルが鳴ったら保育者等が素早く的確な指示を出し、落ち着いて行動できるようさせる。 ・保育者等は消防署の指導による通報訓練、初期消火訓練を行う。

月 日	7月21日	8月20日	9月1日	9月20日	10月19日
訓練時間	クラスで散歩中	プール・水遊び中	地域と連携した 避難訓練	園児が個々に活動中	園児が個々に活動中
	9:30	10:30	10:00	9:30	15:00
想 定	地震・津波	地震	地震・津波	地震・津波	地震・津波・水害
内 容	・散歩中の避難の仕方を知る。	・プールで水遊び中の避難の仕方を知る。	・地域の防災訓練に参加し、地域の人とともに安全な場所へ避難する。	・園庭で遊んでいるときの避難の仕方を知る。	・水害の恐ろしさを知る。 ・安全な場所へ避難することを知る。 ・起震車で地震の揺れを体験する。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・園外での避難訓練なので、不安感をもたせないように声かけをしながら誘導する。 ・園外での訓練のため、交通安全に留意する。 ・人数確認を迅速に行う。 ★非常時持ち出し袋を持参し、避難場所に誘導する。 ★人員確認をし、けが人等の有無を所長・園長等に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児を水の中から出し、安全を確保する。 ・バスタオルや毛布等で身体の保温を行い、避難させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者等や地域の人の誘導・援助で園庭等から避難場所や高台等へ避難させる。 ・保護者に参加を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者等の近くにいる園児を素早く集め、頭を保護させ、その場にしゃがませる。 ・保育者等の指示を注意深く聞き、慌てず落ち着いて避難させる。 ★頭を防災頭巾等で保護し、上履きや靴を履かせ避難させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨や台風、また津波等の水害の危険があるときの避難について知らせる。 ・指定避難場所や高台へ避難を行う際の保育者等の役割について確認しておく。 ・年長児と保育者は、起震車で地震の揺れを体験する。

月 日	11月21日	12月20日	1月20日	2月19日	3月10日
訓練時間	昼寝中	預かり保育中 延長保育中	園児が個々に活動中	園児が個々に活動中	園児が個々に活動中
	13:30	17:30	15:00	9:30	10:00
想 定	地震・火災	地震・津波	地震・火災	地震・津波	地震・津波
内 容	・昼寝中の避難の仕方を知る。	・異年齢、少人数での保育時の避難の仕方を知る。	・室内で各自が遊んでいるときの避難の仕方を知る。	・室内や園庭で各自が遊んでいるときの避難の仕方を知る。	・室内や園庭で各自が遊んでいるときの避難の仕方を知る。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室の中央に園児を集め、布団や毛布で頭や身体を保護させる。 ・昼寝中に起こされ、機嫌が悪くなる園児もいるため、声をかけ、安心感をもたせる。 ・保育者等の誘導や援助で園庭へ避難させる。 ★頭を防災頭巾等で保護し、上履きや靴を履かせ避難させる。 ★非常時持ち出し袋を持参し、避難場所に誘導する。 ★人員確認をし、けが人等の有無を所長・園長等に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の状態に応じて対応し、速やかに避難させる。 ・少人数の保育者等で対応するため、役割分担を確認しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの保育者等のそばに集め、指示を静かに聞かせる。 ・避難時の約束を守って行動させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの保育者等のそばに集め、指示を静かに聞かせる。 ・避難時の約束を守って行動させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練に慣れてきたことで、ふざけたり、しゃべったりすることのないように指導する。 ・指示を最後まで聞き、保育者等の指示に従って行動させる。 ・避難訓練の大切さを再確認させる。

③ 避難訓練実施記録

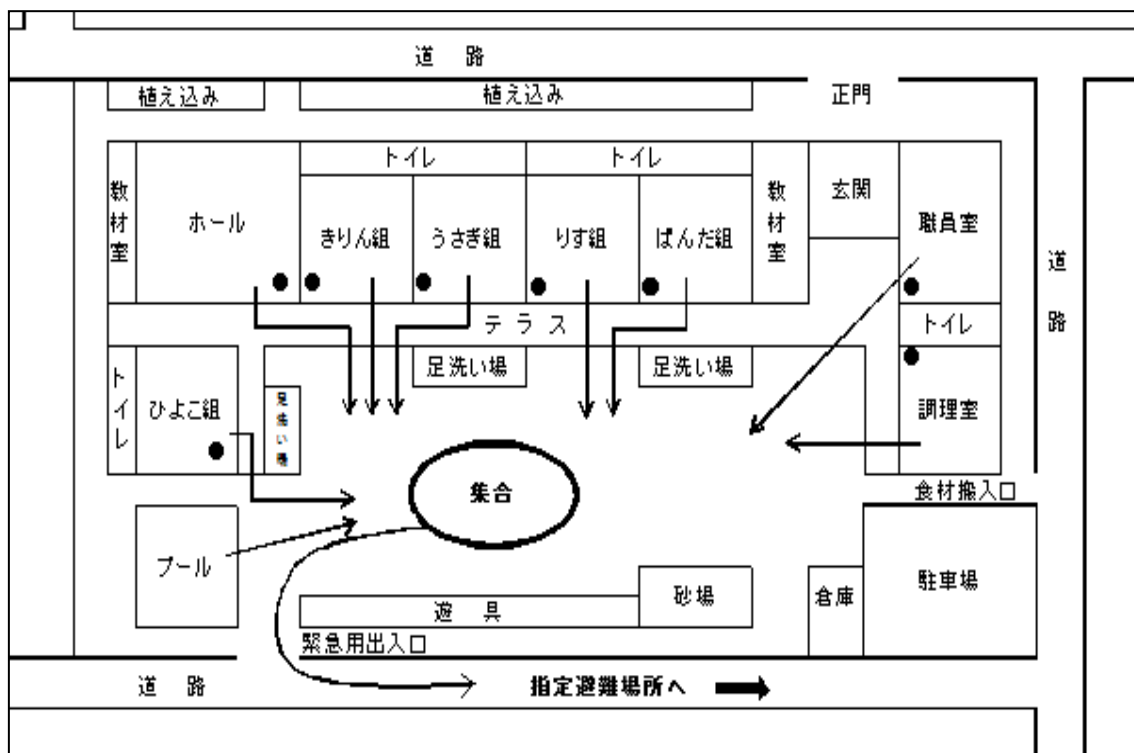
年月日	災害別	所要時間	園児の様子	保育者等の動き	改善点
H24. 4. 20	地震 火災				
H24. 5. 20	地震 津波				
H24. 6. 19	地震 火災				
H24. 7. 21	地震 津波				

避難訓練実施後、訓練に要した時間や訓練中の様子、課題、改善点等を記録してください。

(2) 防災マップ

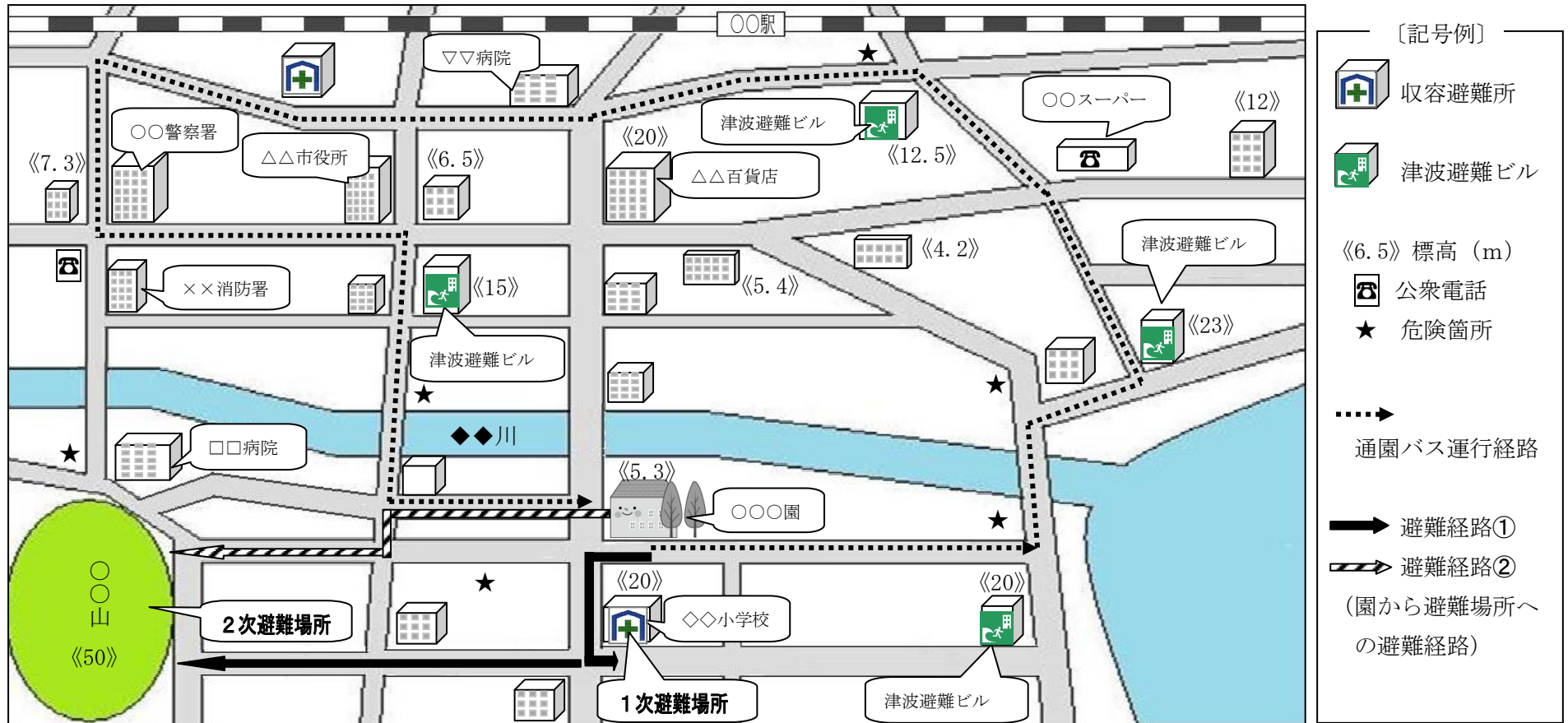
① 園内避難経路図

自園の園内避難経路図を作成し、避難順路を矢印等で明示してください。



●…非常持ち出し品置き場

② 防災（地震・津波対応）マップ



※通園バス運行経路の防災マップは広域となるため、ルートごとに作成する。

※散歩コースについても記載する。

※避難経路は複数検討し、記載する。

市町村が作成している地図や市販の地図を利用し、散歩コースや避難経路、避難場所、通園バス運行経路等を記入し、園独自の防災マップを作成してください。

③ 避難先一覧表

	名 称	住 所	電話番号
一時避難場所	〇〇公園		
	〇〇小学校		
	〇〇中学校		
	避難場所へ通じる道路等が通行できなくなることも考えられます。近隣の避難場所を複数確認し、一覧表にまとめてください。		
指定避難場所	〇〇小学校		
	〇〇中学校		
	〇〇センター		
	〇〇公民館		
通園バス経路上	〇〇小学校		
	〇〇高等学校		
	〇〇ビル		



(3) 施設の安全管理
 [施設・備品の耐震対策チェック]

この点検表は、基本的なことを例示しています。
 各園の実態に応じて点検項目を追加するなど、
 園独自の安全点検表を作成してください。

災害予防のための施設点検 [月 日 曜日 天気]		チェック欄	改善日
職員室・ 保育室・ ホール	天井や壁に取り付けられた空調機は固定しているか。		/
	照明器具は固定しているか。		/
	放送設備（テレビ、スピーカー等）は固定しているか。		/
	掛け時計、掲示物、黒板は落下しないか。		/
	本棚、ロッカーは補助金具等で固定しているか。		/
	ピアノ、オルガン、コピー機は動かないように固定しているか。		/
	棚等の上に重い物や器具は置いていないか。		/
	窓ガラスの飛散防止対策をしているか。		/
	引き戸、ドアの開閉はスムーズか。		/
			/
廊下・ テラス・ 階段	廊下等に避難の妨げとなる物を置いていないか。		/
	下駄箱は固定しているか。		/
	砂や水で滑りやすくなっていないか。		/
	腐食箇所や釘などは出ていないか。		/
	階段の手すりにぐらつきはないか。		/
	照明器具は固定しているか。		/
	窓ガラスの飛散防止対策をしているか。		/
		/	
トイレ	滑りやすくなっていないか。		/
	ドアの開閉はスムーズか。		/
	照明器具は固定しているか。		/
			/
園庭	危険物はないか。		/
	溝の蓋は完全に閉めているか。		/
	遊具のぐらつき、腐食はないか。		/
			/
調理室	大型備品（冷蔵庫、食器保管庫等）は固定しているか。		/
	ガスコック、ガス管にひび割れ等の異常はないか。		/
	ガスを使用しないときは元栓を閉めているか。		/
			/
その他	消火器は所定の場所に置いているか。		/
	消火器や火災報知器、煙探知器等について、定期的に検査を受けているか。		/
	園児にとって危険なもの（医薬品、カッター等）を安全な場所に保管しているか。		/
	門、外壁等倒壊の危険はないか。		/
			/

(4) 備蓄物資と非常持ち出し品

① 備蓄物資

区 分	品 名
食料品	ミネラルウォーター、 粉ミルク、スポーツ飲料、 米・アルファ米、缶詰、乾パン、 あめ、ビスケット、 保存期間が長く火を通さなくても食べられるもの アレルギー対応の簡易食料  等
生活用品	水、毛布、ビニールシート、 非常用保温アルミシート、着替え、ビニール袋、 水筒、哺乳瓶、卓上コンロ（ボンベ）、 スプーン、フォーク、缶切り、ナイフ、ラップ、 おまる、紙おむつ、トイレットペーパー、生理用品、 バケツ、タオル、ウエットティッシュ、マスク、 筆記用具、用紙、ガムテープ、雨具、現金（小銭も）、 マッチ、ライター 等
避難用品	防災頭巾（ヘルメット）、おんぶひも、 拡声器（メガホン）、 軍手、ロープ、ビニール袋、 懐中電灯、ラジオ、乾電池、 関係機関連絡リスト  等
救急医療品	包帯、ガーゼ、止血帯、絆創膏、三角巾、湿布、 タオル、消毒薬、体温計、カット綿、 ゴム手袋 等
その他	

救援活動が受けられるまでの間（一般的には3日程度と言われています）、園児や保育者等の生命や生活を維持するために必要な物を記載し、準備してください。

② 非常持ち出し品

乳児担当者	幼児担当者	担任以外
出席簿 緊急時連絡・引き渡しカード 防災マップ 哺乳瓶 ミネラルウォーター 着替え（少々） 紙おむつ ビニール袋 タオル ウエットティッシュ おんぶひも 筆記用具 笛	出席簿 緊急時連絡・引き渡しカード 防災マップ 着替え（少々） ビニール袋 ウエットティッシュ ティッシュペーパー タオル あめ ロープ 筆記用具 笛	園児名簿 全家庭緊急時連絡・引き渡しカード 防災マップ 防災関係機関連絡先一覧 筆記用具 ティッシュペーパー タオル ビニール袋 現金（小銭） 救急用品 ラジオ 携帯電話充電器 笛
等	等	等

基本的なものを例示しています。各園の実態に応じて必要な物を記載し、準備してください。

3 地震発生後の対応

各園の実態に応じた対応マニュアルを作成してください。

(1) いろいろな保育場面等に応じた対応マニュアル

保育室等での対応 預かり・延長保育時の対応

保育者等の対応

園児への対応・留意点



地震発生!

園児の安全確保

揺れがおさまる



津波発生!

園庭等の安全な
場所へ避難

避難場所決定と指示

★津波危険地域は迅速な避難を最優先

指定避難場所へ

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し

- ・ 出口の確保
- ・ 的確な指示
「しゃがんで」
「机の下にもぐって」
「頭を守って」
「先生がいるから大丈夫」
「先生のそばにおいで」
- ・ 保育室等では、毛布、防災頭巾等身近な物で頭部を保護させ、落下物のない場所に集める
- ・ 火災など二次災害の防止

- ・ 的確な指示
「頭を守って」
「園庭に出ます」
- ・ 安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・ 避難経路・避難場所の安全確認
- ・ ハンドマイク等で避難指示

- ・ 園児を移動させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・ トイレ、保育室、ホール等の隅に園児が残っていないか確認する
- ・ 人員を確認、安全な場所に誘導し、落ち着かせる
- ・ 出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・ 人員点呼と安否の確認
- ・ 負傷者の確認と応急手当
- ・ 園長・所長等不在時
園長・所長等と連絡を取り合い対応する
- ・ 関係機関への連絡

- ・ 引き渡しカードを準備
- ・ 保護者と連絡がとれない場合は、各園（避難場所）で保護する

- ・ 机等の下にもぐらせる
- ・ 幼児は、防災頭巾等で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・ 乳児は、保育者等が抱きかかえ、毛布などで頭部及び上半身を保護する
- ・ 保育者等のそばに集める
- ・ パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

全園児避難の指示

- ・ 静かにさせる
- ・ 身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・ 避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・ 安心させるよう声かけをする
- ・ 不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・ 園児の健康状態に気を配りながら移動する





地震発生!

園児の安全確保

揺れがおさまる



津波発生!

園庭等の安全な場所へ避難

避難場所決定と指示
★津波危険地域は迅速な避難を最優先

指定避難場所へ

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し

園庭での対応

保育者等の対応

- ・的確な指示
「しゃがんで」
「頭を守って」
「先生がいるから大丈夫」
「先生のそばにおいで」
- ・落下物のない場所に集め、頭部を保護させる
- ・固定遊具の上で動けなくなっている園児は、急いで降ろす

- ・的確な指示
「部屋の中にいる人は出ておいで」
「頭を守って」
「大丈夫よ、安心して」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・園舎内（トイレ、保育室、ホール等）や園庭の隅に園児が残っていないか確認する
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・ハンドマイク等で避難指示

- ・園児を移動させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・人員を確認、安全な場所に誘導し、落ち着かせる
- ・出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・園長・所長等不在時
園長・所長等と連絡を取り合い対応する
- ・関係機関への連絡

- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡がとれない場合は、各園（避難場所）で保護する

園児への対応・留意点

- ・机等の下にもぐらせる
- ・幼児は、防災頭巾等で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・乳児は、保育者等が抱きかかえ、毛布などで頭部及び上半身を保護する
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する





地震発生!

昼寝時の対応

保育者等の対応

園児への対応・留意点

園児の安全確保

揺れがおさまる



津波発生!

園庭等の安全な場所へ避難
避難場所決定と指示
★津波危険地域は迅速な避難を最優先

指定避難場所へ

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し

- ・ 出口の確保
- ・ 的確な指示
「布団をかぶって」
「頭を守って」
「大丈夫、先生がいるよ」
- ・ 保育室等では、布団、毛布等身近な物で頭部を保護させ、落下物のない場所に集める
- ・ 火災など二次災害の防止

- ・ 的確な指示
「布団から出なさい」
「大丈夫よ、出ておいで」
「頭を守って」
「園庭に出ます」
- ・ 安全が確認できるまでその場を動かさないように指示
- ・ 避難経路・避難場所の安全確認
- ・ ハンドマイク等で避難指示

- ・ 園児を移動させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・ トイレ、保育室、ホール等の隅に園児が残っていないか確認する
- ・ 人員を確認、安全な場所に誘導し、落ち着かせる
- ・ 出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・ 人員点呼と安否の確認
- ・ 負傷者の確認と応急手当
- ・ 園長・所長等不在時
園長・所長等と連絡を取り合い対応する
- ・ 関係機関への連絡

- ・ 引き渡しカードを準備
- ・ 保護者と連絡がとれない場合は、各園（避難場所）で保護する

- ・ 幼児は、布団にもぐり頭部を保護させる
- ・ 乳児は、保育者等が抱きかかえ、布団等で頭部及び上半身を保護する
- ・ 寝ている園児を起こす
- ・ 保育者等のそばに集める
- ・ パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

- 全園児避難の指示**
- ・ 静かにさせる
 - ・ 身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・ 避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・ 安心させるよう声かけをする
- ・ 不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・ 園児の健康状態に気を配りながら移動する



散歩時等の対応

保育者等の対応

園児への対応・留意点



地震発生！

園児の安全確保

揺れがおさまる



津波発生！

避難場所決定と指示
★津波危険地域は迅速な避難を最優先

最寄りの安全な場所へ避難
★津波の恐れがある場合は高台等へ

安全確認

園へ連絡
避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し

- ・的確な指示
「しゃがんで」
「頭を守って」
「大丈夫、先生がいるから安心して」
- ・地形や状況を判断し、落下物のない場所に集め、頭部を保護させる
- ・交通機関等を利用している場合は、乗務員の指示に従う

- ・的確な指示
「先生のそばにおいで」
「けがをした人はいませんか」
「頭を守って」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・最寄りの避難場所を選定する
- ・避難経路・避難場所の安全確認

- ・人員を確認し、最寄りの安全な場所に避難誘導する
- ・落下物、飛散ガラス等から身を守るよう指示
- ・地割れした道路、倒れた電柱、垂れ下った電線等に近づかないように指示

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・総括本部（所長・園長等）に状況を報告し、対応を決定する

- ・保護者に状況を伝える
- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡がとれない場合は、避難場所で保護する

- ・幼児は、頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・乳児は、保育者等が抱きかかえ、頭部及び上半身を保護する
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、周辺の方に協力を求める
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する

- ・園に帰ることが危険と判断される場合は、安全な避難場所に待機し、総括本部（所長・園長等）と連絡を取り合う

散歩時等、園外に出かけるときは非常持ち出し品を携帯する。

※遠足等の園外活動時の対応については、事前に避難場所等の確認をし、保護者に知らせる。

プール・水遊び中の対応



地震発生！

園児の安全確保

揺れがおさまる



津波発生！

園庭等の安全な場所へ避難

避難場所決定と指示
★津波危険地域は迅速な避難を最優先

指定避難場所へ

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し

保育者等の対応

- ・的確な指示
「プールから上がりなさい」
「プールのふちにつかまって」
「先生のそばにおいで」
- ・プールから園児を出す
- ・プールサイドにしゃがます
- ・バスタオル等で身体を保護させる
- ・園児がプール内に残っていないか確認をする

- ・的確な指示
「大丈夫、先生がいるから」
「頭を守って」
「先生のそばにおいで」
「園庭に行きます」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・ハンドマイク等での避難指示

- ・園児を移動させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・人員を確認、安全な場所に誘導し、落ち着かせる
- ・出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・園長・所長等不在時
園長・所長等と連絡を取り合い対応する
- ・関係機関への連絡

- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡がとれない場合は、各園（避難場所）で保護する

園児への対応・留意点

- ・出られない園児をプールから出す
- ・幼児は、バスタオル等で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・乳児は、保育者等が抱きかかえ、バスタオル等で頭部及び上半身を保護する
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・バスタオル等で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する

津波のため水着のまま避難したときは、毛布や非常用保温シート等で身体を保護する。



通園バス乗車中の対応

保育者等の対応

園児への対応・留意点



地震発生！

園児の安全確保

揺れがおさまる



津波発生！

最寄りの安全な場所へ避難

避難場所決定と指示
★津波危険地域は迅速な避難を最優先

安全確認

園へ連絡
避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し

- ・地形や状況を判断し、崩落や落下物等の恐れがない安全な場所にバスを停める
- ・的確な指示
「頭を守って」
「先生がいるから安心して」

- ・的確な指示
「けがをした人はいませんか」
「頭を守って」
「あわてないで、大丈夫よ」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・最寄りの避難場所を選定する
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・落下物、飛散ガラス等から身を守るよう指示
- ・地割れした道路、倒れた電柱、垂れ下った電線等に近づかないように指示
- ・人員を確認し、避難誘導する

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・総括本部（所長・園長等）に状況を報告し、対応を決定する

- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡がとれない場合は、各園（避難場所）で保護する

- ・身近な物で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、周辺の方に協力を求める
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する

- ・園に帰ることが危険と判断される場合は、安全な避難場所に待機し、総括本部（所長・園長）と連絡を取り合う



- ・通園バス運行経路の防災マップ
- ・乗車する園児の名簿を携帯する。

登園・降園中の対応



地震発生！

安全確保

揺れがおさまる



津波発生！

園庭等の安全な
場所へ避難

避難場所決定と指示
★津波危険地域は迅速な避難を最優先

指定避難場所

↓
保護者への引き渡し

園児等に関する
情報の集約

関係機関への報告

保育者等の対応

保護者と園児の対応・留意点

<徒歩・自転車の場合>

- ・頭部及び上半身を保護し、姿勢を低くする
- ・建物、ブロック塀、窓ガラス、自動販売機等から離れる

<車の場合>

- ・車を路肩に寄せて停車させる

- ・揺れがおさまったら、近くの空き地や公園に避難する
- ・津波危険地域では、高台や十分な強度と安全な高さのある建物に素早く避難する
- ・山間部では、がけ崩れや土砂崩れ等に注意し移動する
- ・キーをつけたまま、車から降りて避難する

- ・園児が園内に残っていないか確認する
- ・可能な限りで園周辺を見回り安否確認をする
- ・園児がいた場合は、保護者も一緒に園庭へ避難させる

- ・指定避難場所への避難から保護者への引き渡しまでの保育者等の対応については、保育室等での対応を参照

- ・津波危険地域では、津波警報が解除され、安全が確認できるまで避難場所等を動かない

情報の集約

- ・園児、保育者等の被災状況
- ・園児の避難状況
- ・園の被災状況 等



各家庭が決めている避難場所について確認しておく。

休日・夜間等の対応



地震発生!

安全確保

揺れがおさまる



津波発生!

避難

保育所・幼稚園等へ
参集

園児・保育者等の
安否確認

自宅・避難所等

被害状況の把握

園児等に関する
情報の集約

関係機関への報告

保育者等の対応

保護者と園児の対応・留意点

<自宅等にいる場合>

- ・頭部及び上半身を保護し、姿勢を低くする

<徒歩・自転車の場合>

- ・頭部及び上半身を保護し、姿勢を低くする

- ・建物、ブロック塀、窓ガラス、自動販売機等から離れる

<車の場合>

- ・車を路肩に寄せて停車させる

- ・自分自身の安全を確保する
- ・家族の無事を確認する
- ・家族の安否確認後、園や指定されている避難場所に参加する

- ・指定されている避難場所へ避難する

- ・身近な物で頭部を保護し避難する

- ・津波危険地域では、高台や十分な強度と安全な高さのある建物に素早く避難する

- ・津波危険地域では、津波警報が解除され、安全が確認できるまで避難場所等を動かない

- ・園児と保護者の安否確認をする
- ・保育者等の安否確認をする
- ・園舎や園周辺の被害状況の確認をする

情報の集約

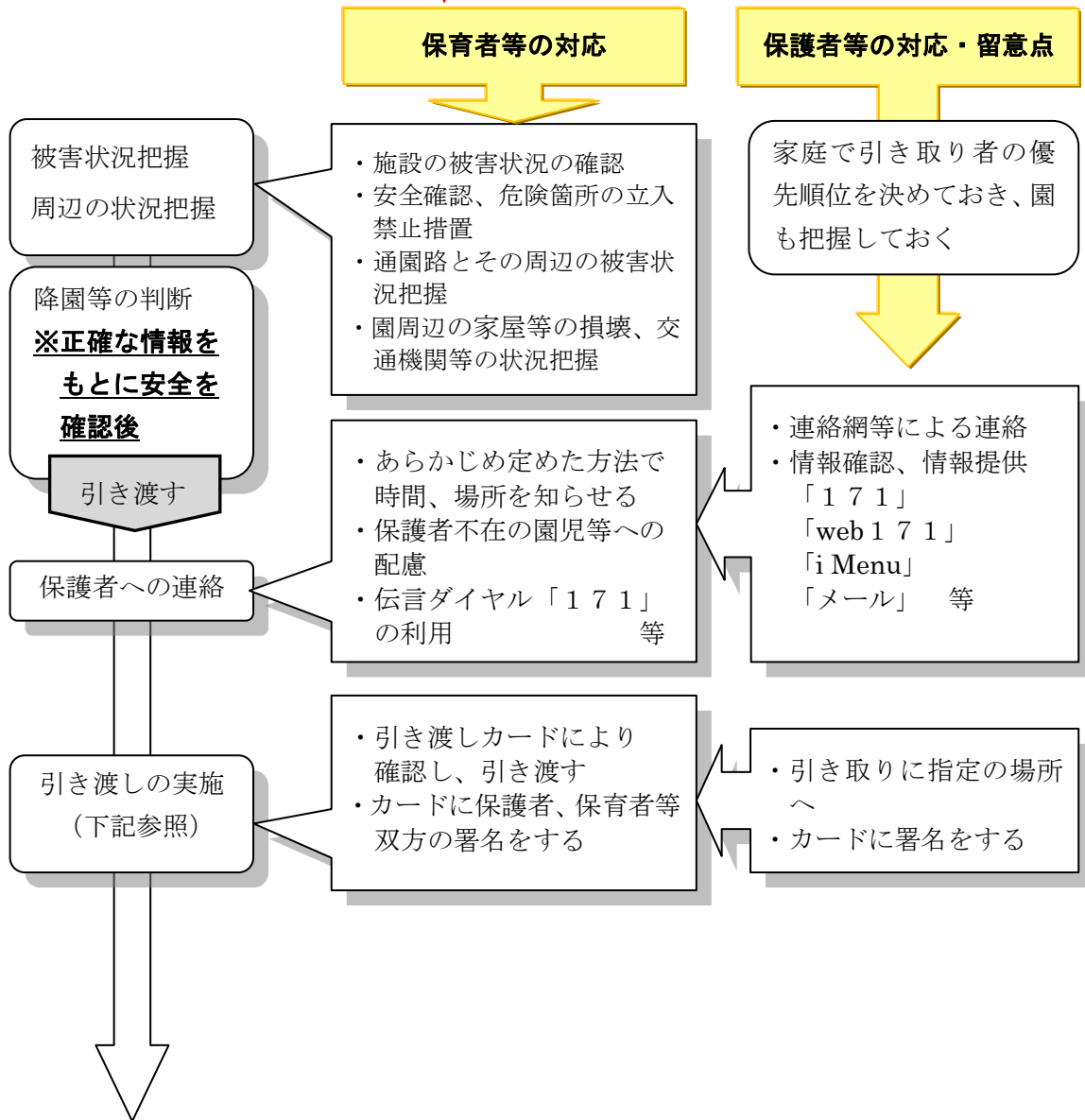
- ・園児、保育者等の被災状況
- ・園児の避難状況
- ・園の被災状況 等

安否等の園への連絡方法について、事前に保護者と申し合わせておく。

(2) 保護者への引き渡し

① 保護者への引き渡し

園児を保護者へ引き渡すまでの対応について、
保育者等が対応すること、保護者等に周知して
おくこと等を記入してください。



- (1) 園児は、園庭または避難場所に集合させる。保護者は指定の場所で待機してもらおう。
- (2) ハンドマイク等の指示で引き渡し開始
 - 引き渡しカードをもとに引き取り者を確認し、園児を引き渡す。
 - 兄弟姉妹がいる場合は、低年齢の園児から引き渡す。
 - 負傷した園児については、状況を保護者に説明し引き渡す。
 - 行方不明の園児の保護者には、所長・園長が対応する。
- (3) 保護者への連絡がとれない場合、園児を引き続き保護する。その場合、園児の心のケアを心がける。

② 緊急時連絡・引き渡しカード

基本的なことを示しています。各園の実態に応じて、必要なことを追加し、緊急時連絡・引き渡しカードを作成してください。

緊急時連絡・引き渡しカード				保護者印		担任印	
園児氏名		性別		組 (年齢)		組	才
住 所	〒			血液型			
	電話 () -						
保護者名			園児との関係				
在園する兄弟姉妹	組		組	組			
	氏名		氏名	氏名			
緊急時の連絡先 (優先順に)	①氏名	続柄		電話() - 自宅・勤務先			
		携帯 ()					
		メールアドレス ()					
	②氏名	続柄		電話() - 自宅・勤務先			
		携帯 ()					
		メールアドレス ()					
	③氏名	続柄		電話() - 自宅・勤務先			
		携帯 ()					
		メールアドレス ()					
家族で確認している避難場所							

引き取り者		園児との関係	
引き渡し日	年 月 日 時 分	引き渡し 保育者等名	
避難場所		今後の連絡先	
特記事項			

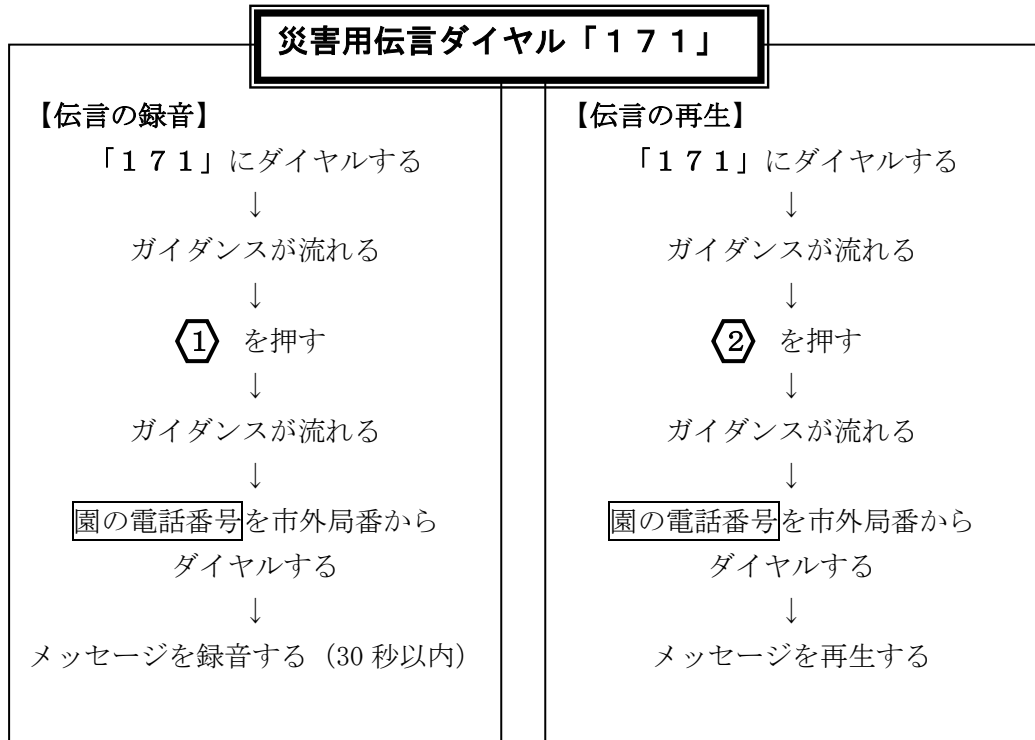
※原本は職員室、コピーしたものを非常持ち出しバッグ等へ入れておく。

※個人情報のため、管理には十分留意する。

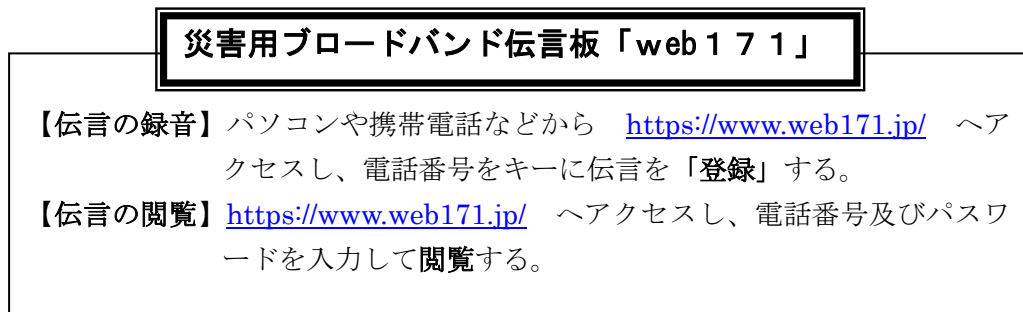
(3) 緊急時の通信手段

市町村や各園の状況に応じて、緊急時の通信手段を確認し、記載してください。

① 災害伝言ダイヤル「171」



② 災害用ブロードバンド伝言板



③ iモード災害伝言板

災害用伝言板サービス「iモード」

【メッセージの登録】i Menu のトップに表示される「災害伝言板」の「登録」を選択します。現在の状態について「無事です。」等の4つの中から選択します。任意で100文字以内のコメントを入れることが可能です。(コメントのみの利用も可能)

【メッセージの確認】i Menu のトップに表示される「災害伝言板」の「確認」を選択します。安否を確認したい人の「携帯電話番号を入力」し、「検索」を押します。

※ <https://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi> から確認することができます。

④ 災害用伝言体験利用

【体験利用日】

- ・ 毎月1日及び15日
- ・ 正月三が日 (1月1日 0:00～1月3日 24:00)
- ・ 防災週間 (8月30日 9:00～9月5日 17:00)
- ・ 防災とボランティア週間 (1月15日 9:00～1月21日 17:00)

災害用伝言 体験利用

【提供条件】

- ・ 伝言録音時間：30秒
- ・ 伝言保存期間：6時間
- ・ 伝言蓄積数：10伝言



4 災害時における心のケア

(1) 園児の心のケア

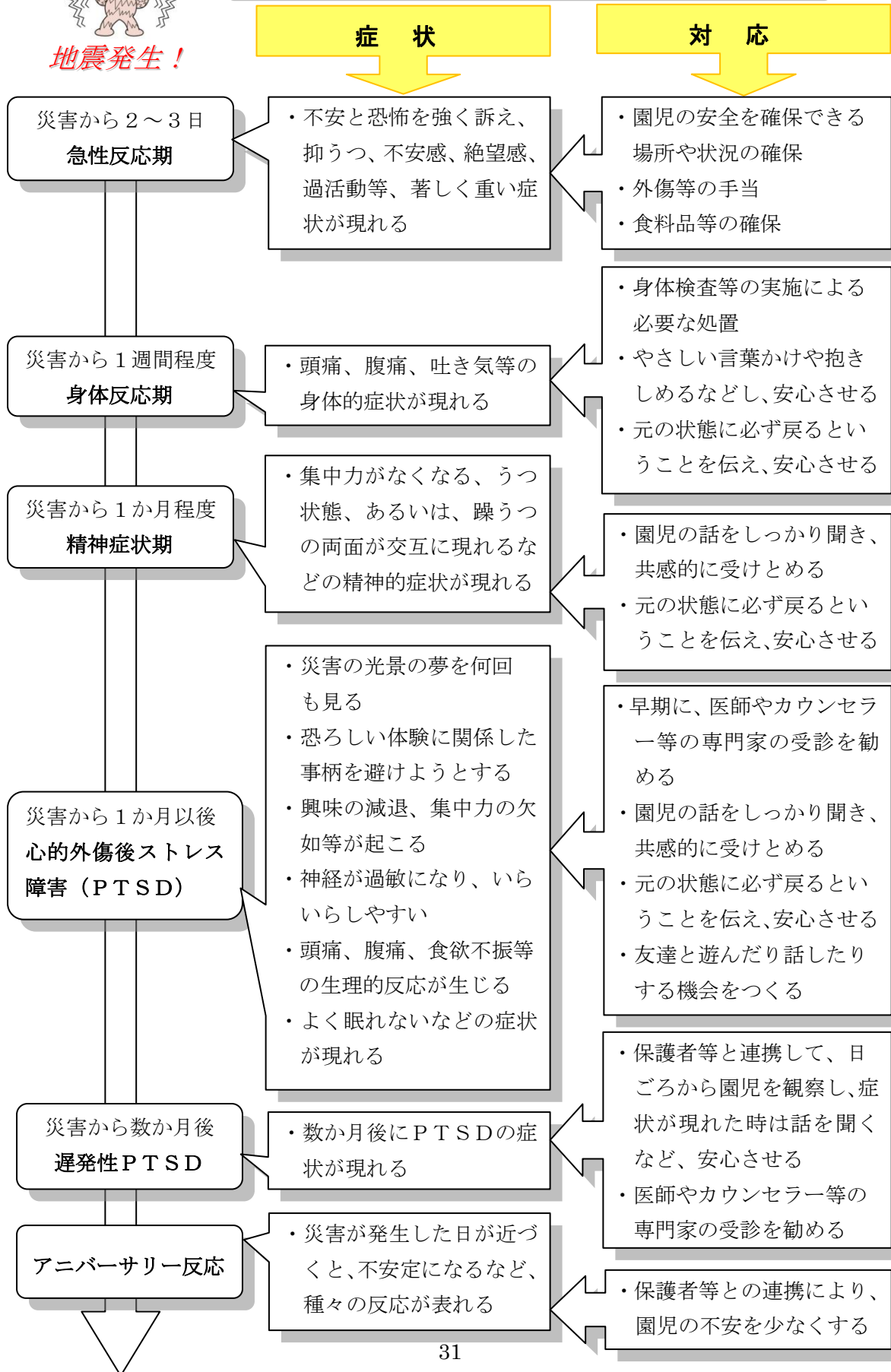
◆ 園児の心のケアについて①



◆ 園児の心のケアについて②



災害後、園児に現れる可能性のある症状とその対応



(2) 保育者等の心のケア

(1) 教職員の心のケア

自然災害は子どもを守る立場の大人にとっても強いストレスであり、その影響はだれもが受ける。子どもの心のケアには、周囲にいる大人がまず精神的に安定していることが大切であるため、子どもに直接かかわる教職員及び保護者の心のケアは重要である。

<基本的な対応事項>

① 教職員の被災状況及び心身の健康状態の把握

校長は教職員についても安否確認、被災状況、心身の健康状態の把握を行い、教職員間での共通理解を図り、支え合うことや役割分担の軽減などの配慮を行う。特に、家族を亡くすなどの被災を受けた教職員には、心のケアが必要であり、本人が必要としている支援を継続的に行う。

② 自然災害等におけるストレス反応等についての啓発

自然災害などに遭遇した場合は、だれでもストレスを受けることや、ストレスを受けた場合にどのような反応が起こるのかなどを知ることによって動揺することなく、子どもに対応することができる。

地域が大規模な自然災害に遭遇した場合などは、教職員や保護者も被災者なので、ストレス反応が起こることは正常である。これまでに体験したことのない悲惨な状況や特に人の死に直面した場合には、強いストレスを受ける。また、思うように活動が進まなかったり、成果が見えにくかったりする場合もストレスは高まり、不安やフラストレーションを抱きやすくなることに留意する必要がある。

③ 共感から生まれる安堵と安心

同じ体験をしたことで多くを語らずとも共感できる同僚の存在は安堵感につながり、精神的負担を軽減する上で重要である。さらに、教職員が情報を共有して組織的に子どもの心のケアにかかわることは、教職員にとっても気持ちの落ち着きや安心感を得られることにつながる。

④ 休息を取り、気持ちを語り合う

子どもの心のケアをする立場にある教職員は、「しっかりしなければ」「弱音を吐いてはいけない」など、責任感と緊張を伴った活動が続く。自らのことは後回しになったり、自分のことに時間を使うことへの罪悪感を抱いてしまいがちで、身体の疲労に対しても鈍感になるなど、ストレスにさらされていることが多いので、意識的に休息をとることが必要である。管理職は、教職員の心身の健康状態にも十分配慮し、学校医等の指導助言を得るなどしながら指導に当たり、教職員間で互いを支え合う姿勢を忘れないようにする。

さらに、管理職は、1日の活動の終わりには教職員間（必要に応じてスクールカウンセラー

等を交える)で、その日の振り返り時間をつくることが大切である。自由に安心して話せる場所で、子どもに関する情報共有と自分の体験やそれに伴う感情を語り合うことが自身の心のケアにつながり、冷静な自分を取り戻す手がかりにもなる。

⑤ 自己の心身の健康管理に努める

それまでの人生で経験したことのないストレスを受けた場合、一人で抱え込まずに、学校医、専門医、スクールカウンセラー等から指導や助言を得て心のケアを進めていくことが、自己の心身の健康管理を図る上で重要である。

⑥ 自然災害時の校内体制づくり

養護教諭が被災する場合もあるため、平常時から校内研修会を実施し、心のケアに関する共通理解を図っておくことや保健部などの校内組織が役割を果たすことができる機動力を備えていることが重要である。

「子どもの心のケアのために一災害や事件・事故発生時を中心に」より抜粋
(文部科学省平成22年7月発行)